



大阪医学統計学セミナー 第57回

Osaka Biostatistics Seminar

2月17日 (金)

16:00~18:00

「欠測を伴う時間依存性交絡の存在下における因果生存時間解析」

講演者：竹内 由則 (東邦大学医療統計学分野)



場所：
オンライン開催
医学系研究科基礎研究棟L階
医学統計学研究室

参加ご希望の方は、前日までに下記問い合わせ先にメールにてお申込みください。

概要：

生存時間に対する時間依存性治療の因果効果を推定する場合、G-methods等を用いた時間依存性交絡要因の適切な処理が必要となる。これら手法の多くは欠測のない完全データを想定としているが、臨床研究・疫学研究では時間依存性交絡要因はしばしば欠測する（医療情報データベースを用いた薬剤疫学研究における臨床検査値の欠測など）。さらに、時間依存性交絡要因の欠測は非単調かつ無視不可能な欠測であることも多く、その場合、単調または無視可能な欠測メカニズムを仮定した既存の欠測データ解析の適用は不適切である。本講演では、このような状況における因果生存時間解析法について提案する。

お問い合わせ：大阪大学大学院医学系研究科 医学統計学講座

E-Mail : office@biostat.med.osaka-u.ac.jp TEL : 06-6879-3301